

## 6. 地域との関係

### (1) 近所のおとなとの関係

子どもどうしだけでなく、「家族で付き合いのある近所の人や友達」がいるかどうかを尋ねた結果は、図 6-1-1 のとおりである。「いる」は、小5では87%、中2では80%あった。ひとり親家庭では、「いる」が、小5で85%、中2で72%であり、中2のひとり親家庭で少なくなっている(図 6-1-2)。また、中2では、祖父母との非同居家庭のほうが、同居家庭よりも、「いない」がやや多かった(図 6-1-3)。

図 6-1-1 家族で付き合いのある近所の人の有無

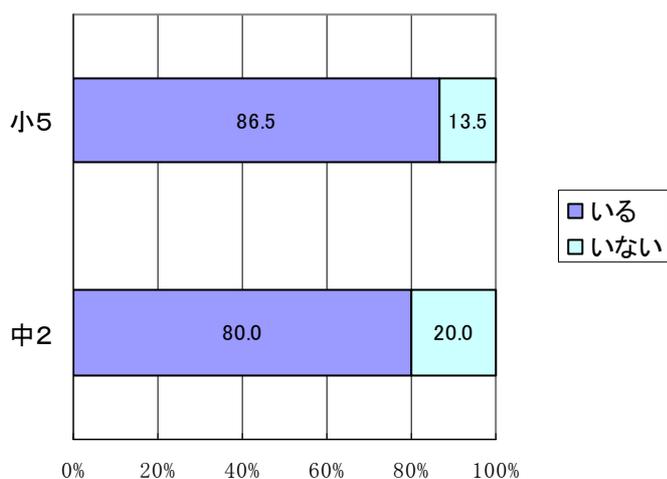


図 6-1-2 「ひとり親家庭」と「家族で付き合いのある近所の人の有無」の関連

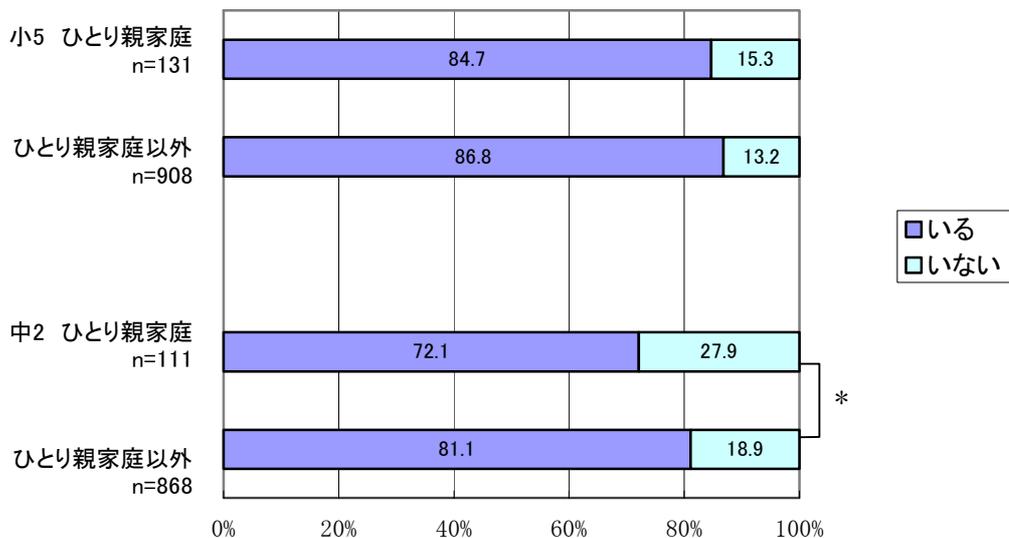
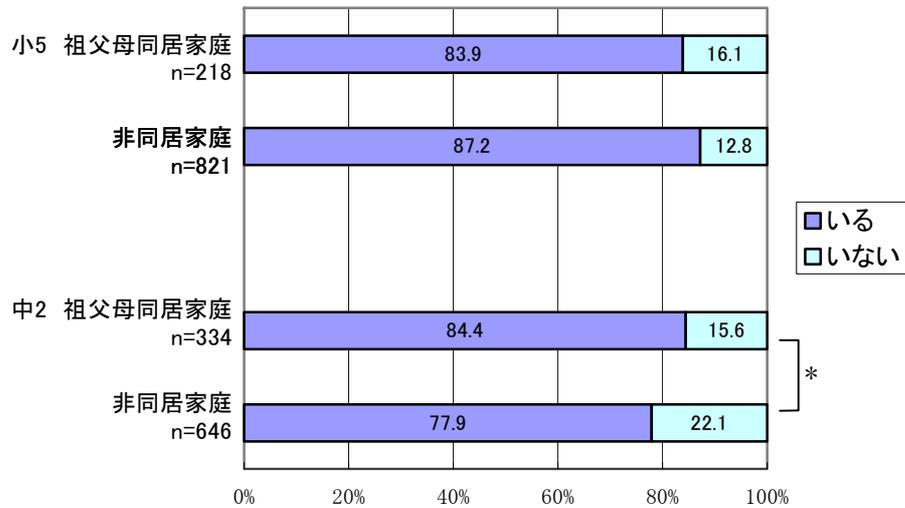


図 6-1-3 「祖父母同居家庭」と「家族で付き合いのある近所の人の有無」の関連



「近所のおとなの人からほめられたり、注意されたり、叱られたりするか」は、図 6-1-4 のとおりである。「ある」(たまに、ときどき、いつも)は、小5で 55%、中2で 49%であり、5割ほどになる。「ぜんぜんない」は、2割ほどあった。

「家族で付き合いのある近所の人の有無」との関連をみると、「家族で付き合いのある近所の人」が「いる」と答えた子どもに、「近所の人からほめられたり、叱られたりすること」が「ある」(たまに、ときどき、いつも)の割合が高くなっている(図 6-1-5)。近所に家族で付き合いのあるよく知っている人がいると、ほめられたり叱られたりする機会が多くなると思われる。

図 6-1-4 近所の人からほめられたり、叱られたりすること

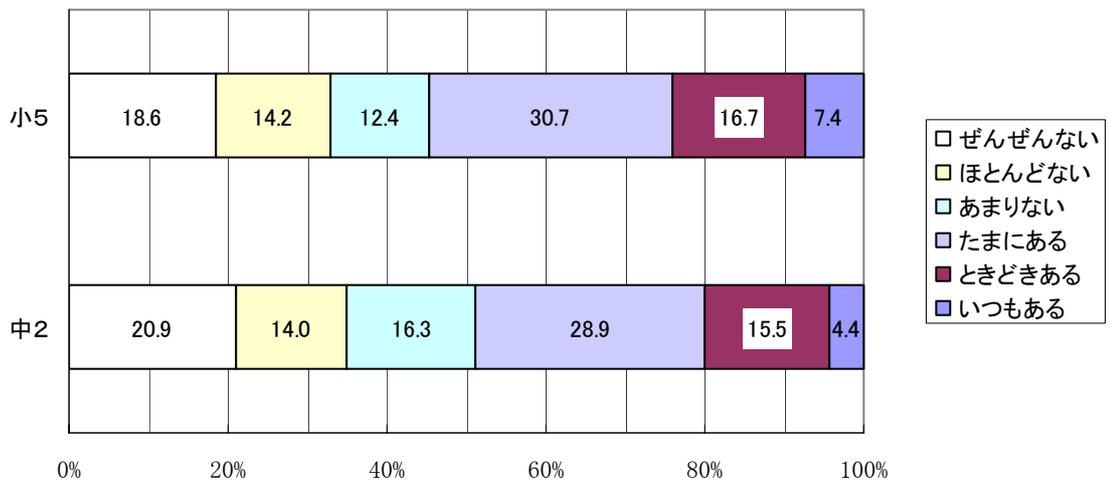
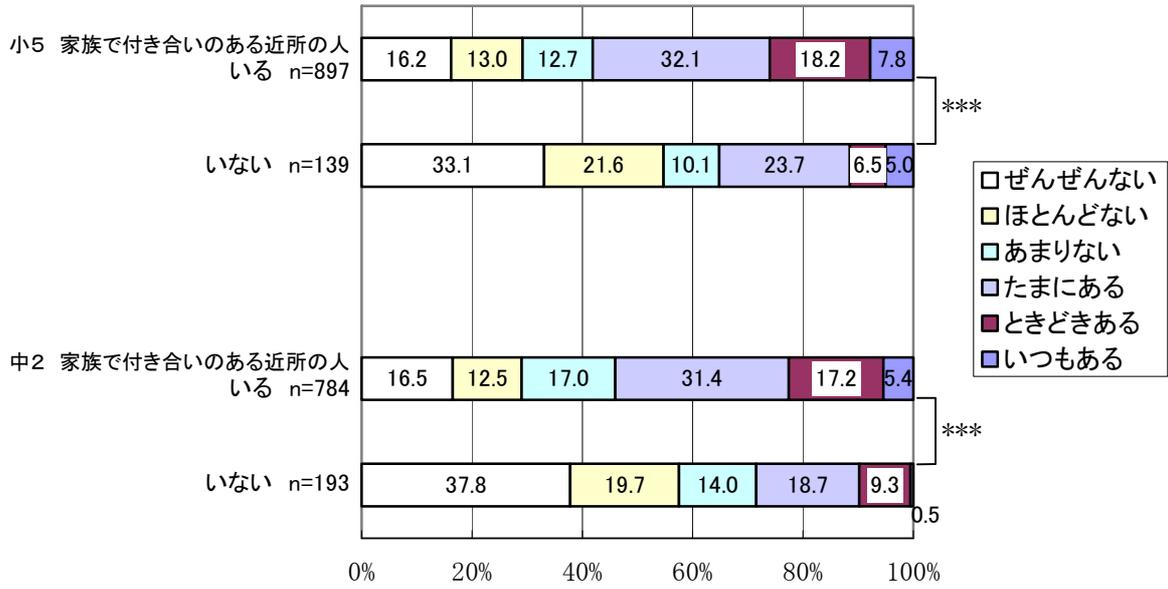


図 6-1-5 「ほめられたり叱られたりすること」と「家族で付き合いのある人の有無」の関連



## (2) 地域で参加してみたい活動

地域で参加してみたい活動を選択肢の中から1つ選択してもらった結果は、図 6-2-1 のとおりである。小5、中2とも、「スポーツに関する活動」が最も多く3割あり、次いで「小さい子どもたちの指導や世話」「文化に関する活動」が多い。これらは、男女差がみられ、「スポーツに関する活動」は、小5、中2とも、女子より男子に多く、「小さい子どもたちの指導や世話」と「文化に関する活動」は小5、中2とも、男子より女子に多い(図 6-2-2、図 6-2-3)。

図 6-2-1 地域で参加してみたい活動

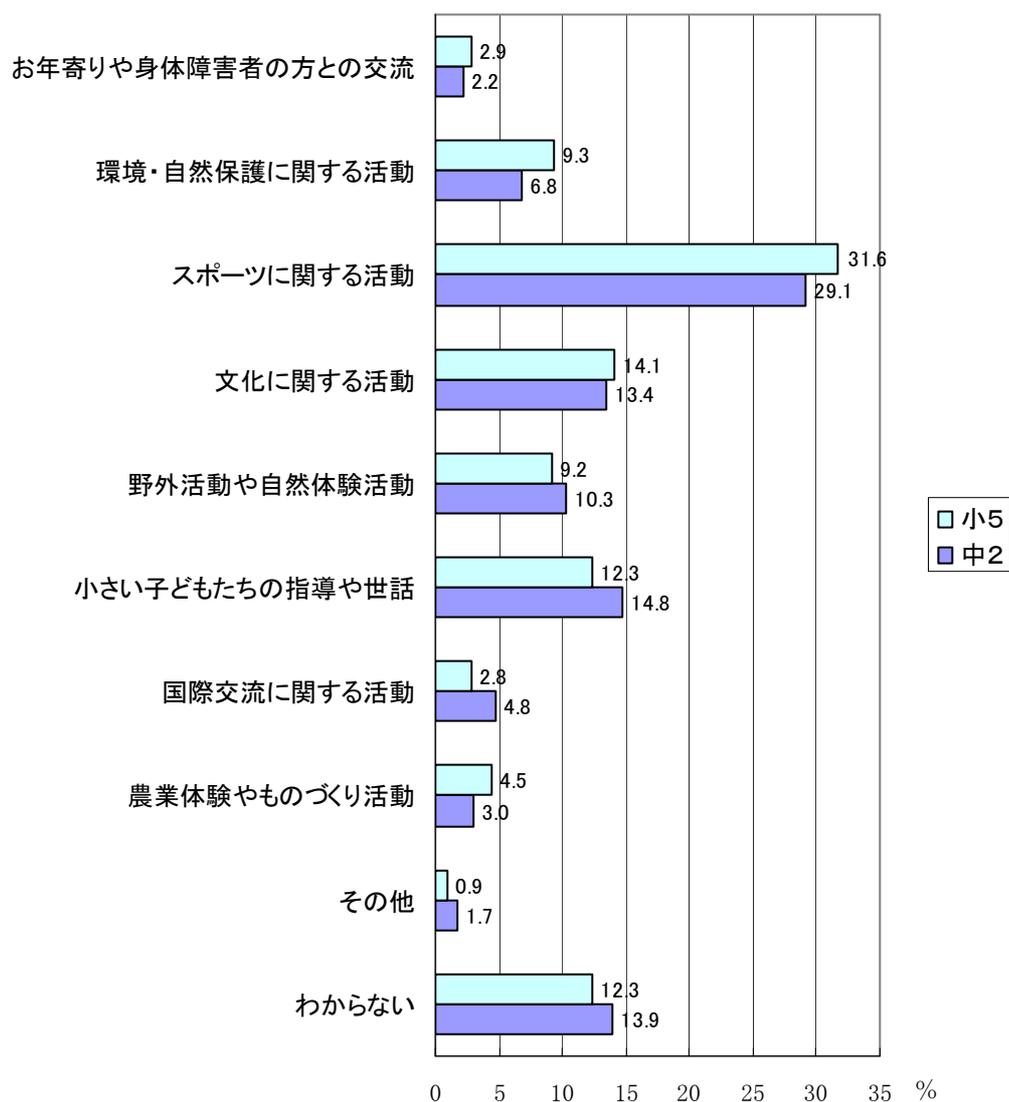


図 6-2-2 地域で参加してみたい活動（小5・男女別）

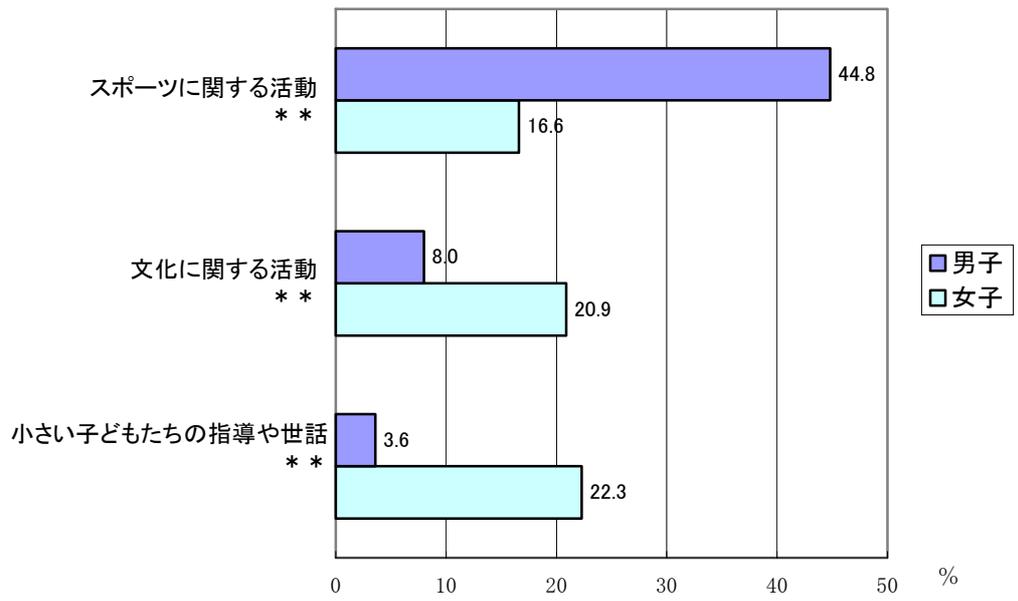
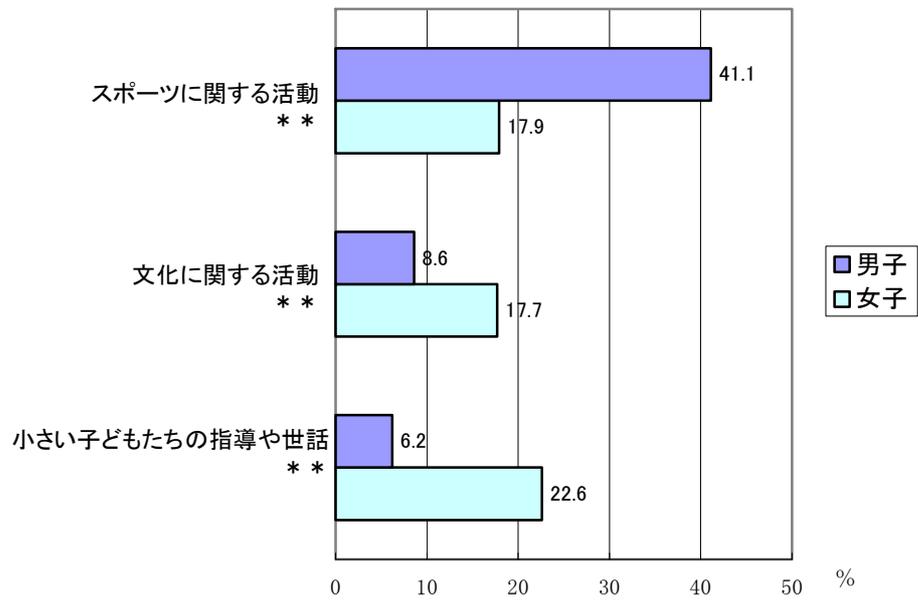


図 6-2-3 地域で参加してみたい活動（中2・男女別）



## 7. 将来への意識

### (1) 夢やいきがい

将来の夢やいきがい（どのような生活をしたいか）を持っているかどうかは、図 7-1-1 のとおりである。小5全体で9割、中2全体で8割は、「ある」と答えている。男女別では、小5、中2とも、男子より女子の方が、夢やいきがいを持っている子どもの比率が高くなっている。

夢やいきがいを持っていると回答した人には、その内容について、最もあてはまるもの1つを選択してもらった。図 7-1-2 のように、小5では「自分の個性や才能を活かしたい」、「好きなことをしながら生活したい」、「思いやりのあるやさしい人になりたい」が多くなっている。中2では、「好きなことをしながら生活したい」が3割と高くなっており、次いで「自分の個性や才能を活かしたい」が多くなっている。小学生より中学生の方が、自分の個性ややりたいことに目が向けられるようになってきているという結果である。

男女別にみると、小5では、「お金持ちになって豊かな生活をしたい」、「有名人になりたい」、「その他」は女子より男子に多く、「思いやりのあるやさしい人になりたい」、「家族やまわりの人たちと円満に楽しく暮らしたい」は男子より女子に多い。「その他」の記述には、なりたい職業を書いた子どもが多く、男子は野球選手やサッカー選手など、スポーツ関係の職業が多かった。中2では、男女でそれほど差はないが、「社会に貢献したい」、「お金持ちになりたい」は女子より男子にやや多く、「思いやりのあるやさしい人になりたい」は、男子より女子にやや多くなっている（図 7-1-3、図 7-1-4）。

図 7-1-1 夢やいきがいの有無

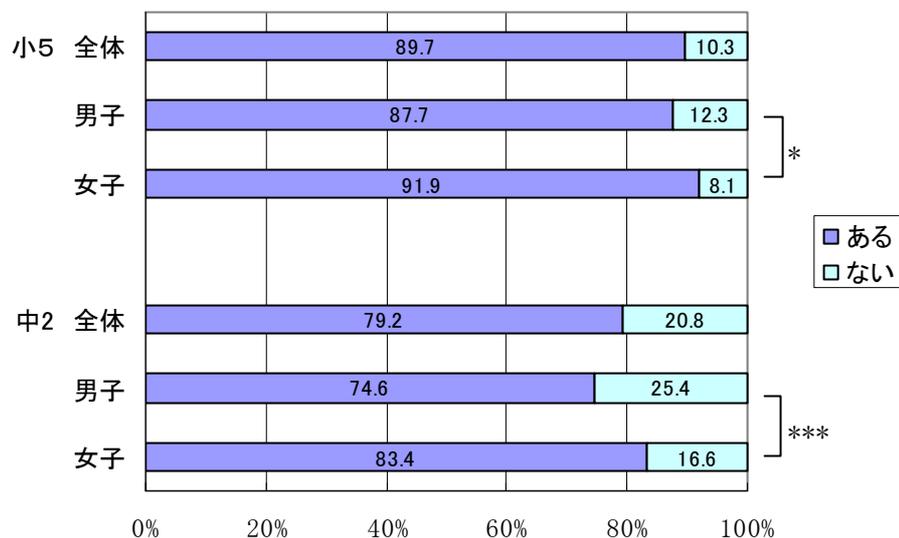


図 7-1-2 夢やいきがいの内容

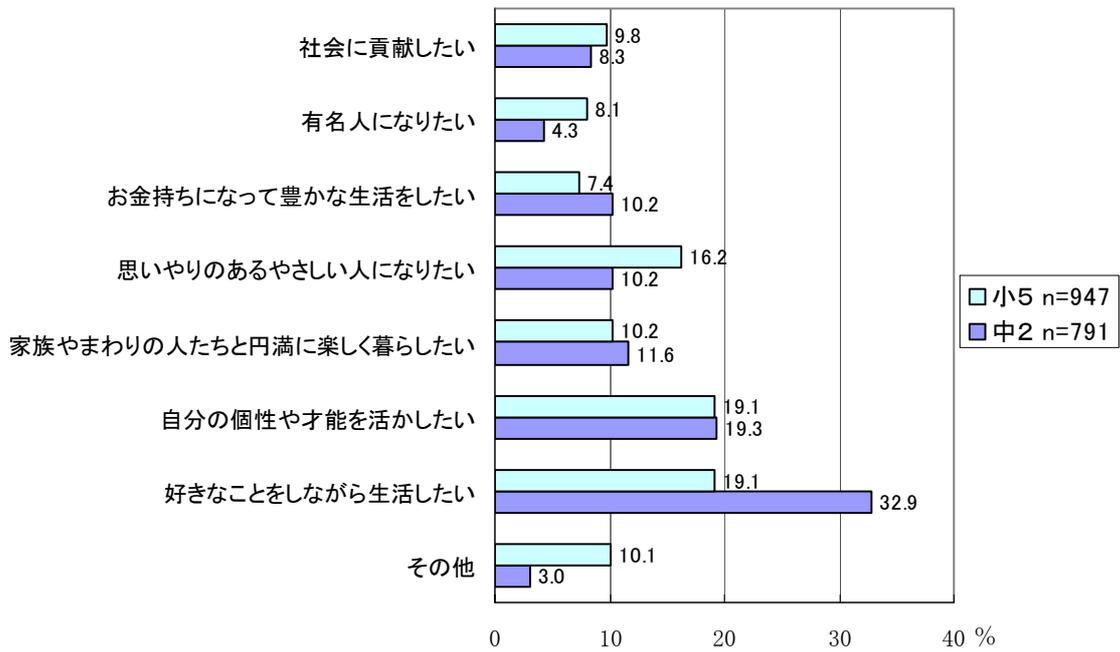


図 7-1-3 夢やいきがいの内容（小5・男女別）

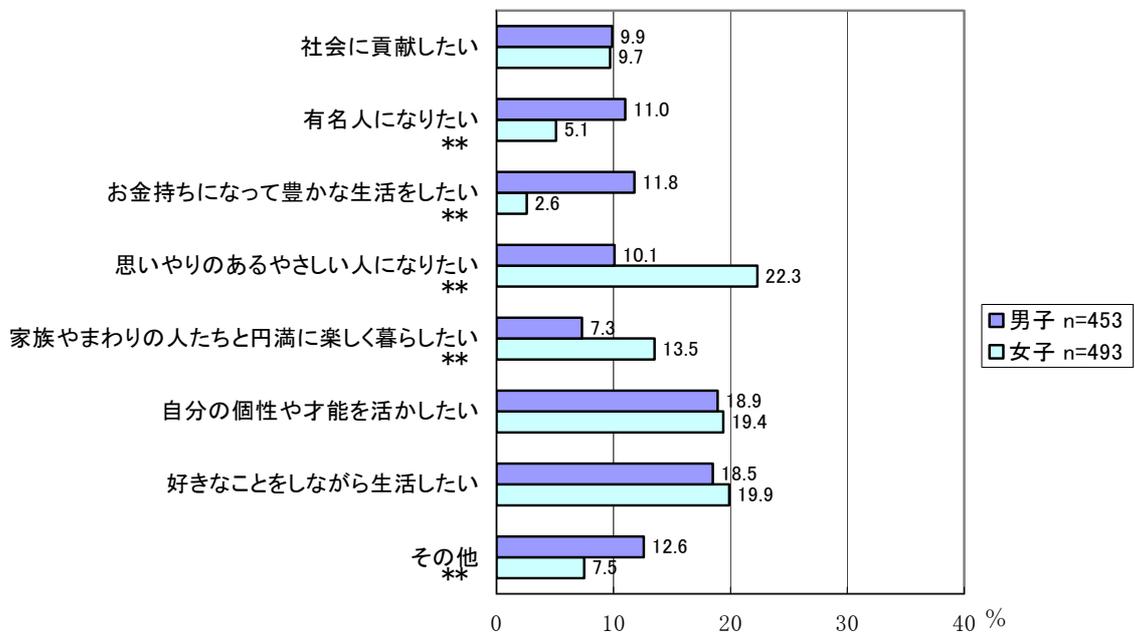
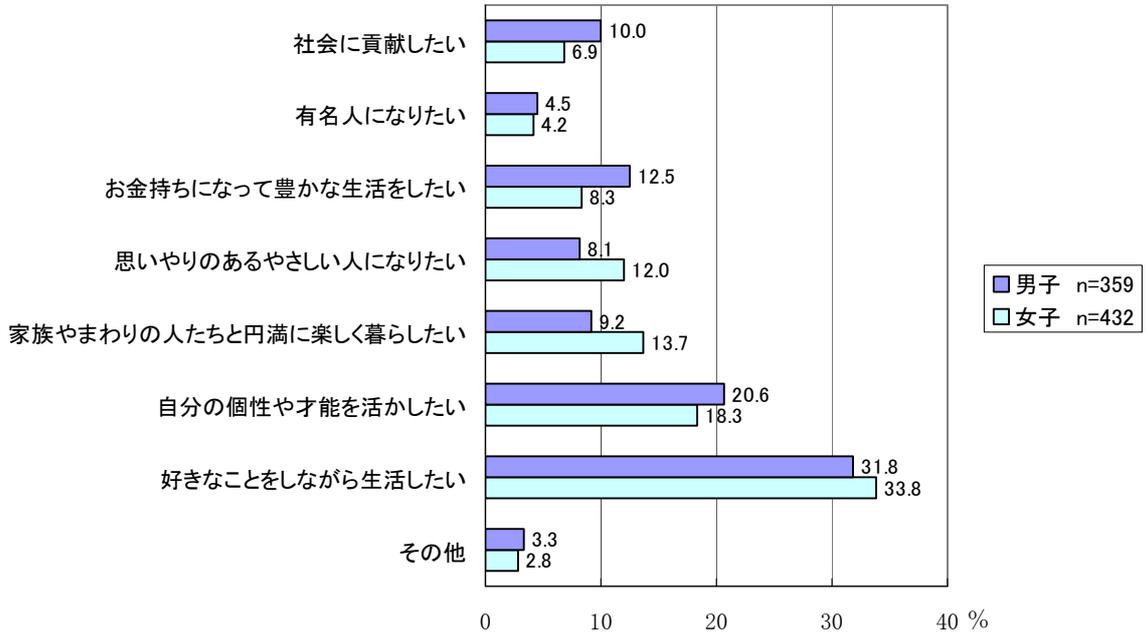


図 7-1-4 夢やいきがいの内容（中2・男女別）



このような将来の夢やいきがいは、「どのくらい実現する可能性があると思いますか」との質問に、6段階で回答してもらった結果が、図 7-1-5 である。「とてもある」と「わりとある」を合わせると、小5で 36%、中2で 29%あった。「少しある」まで含めると、小5で8割、中2で7割は、夢やいきがいが実現する可能性が「ある」と思っている。男女別では、中2では差がなかったが、小5では、男子より女子の方に実現可能性が「ある」（少しある、わりとある、とてもある）と思う子どもの割合が高かった。

「父母に話を聞いてもらえるかどうか」と、「夢やいきがいが実現する可能性」との関連をみると、「話を聞いてもらえる群」より「話を聞いてもらえない」群の方に、夢やいきがいが実現する可能性が「ない」（ぜんぜんない、ほとんどない、あまりない）の比率が高くなっている（図 7-1-6）。父母に話を聞いてもらえることは、「夢やいきがいが実現する可能性」と関連している。

図 7-1-5 夢やいきがいが実現する可能性

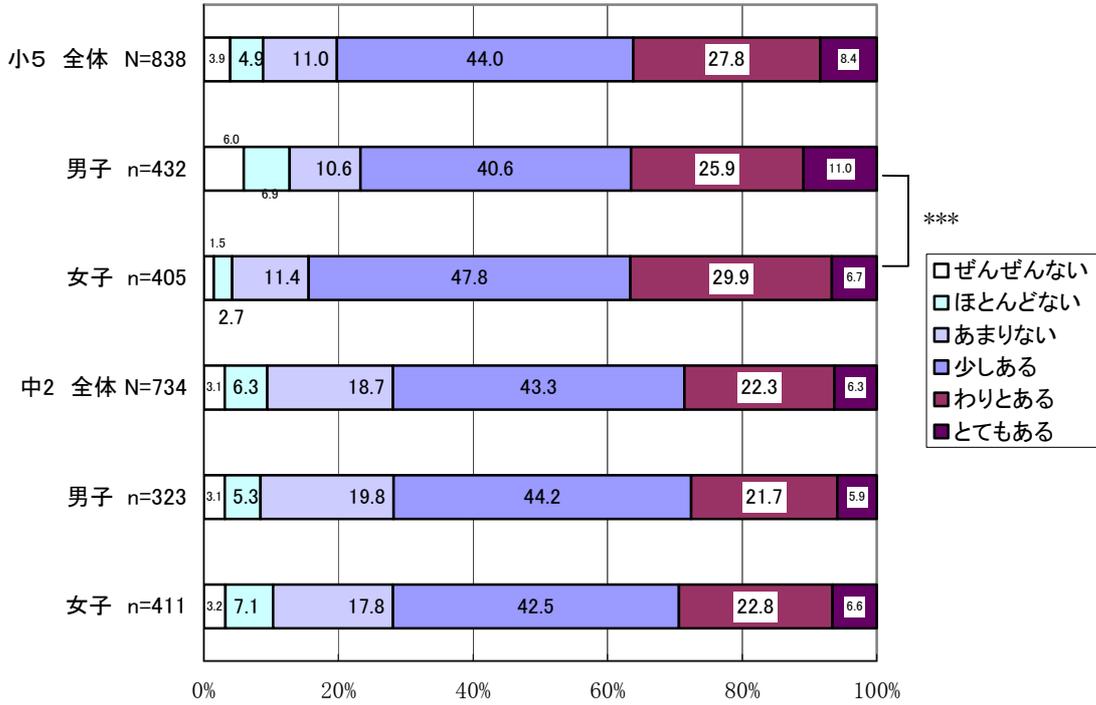
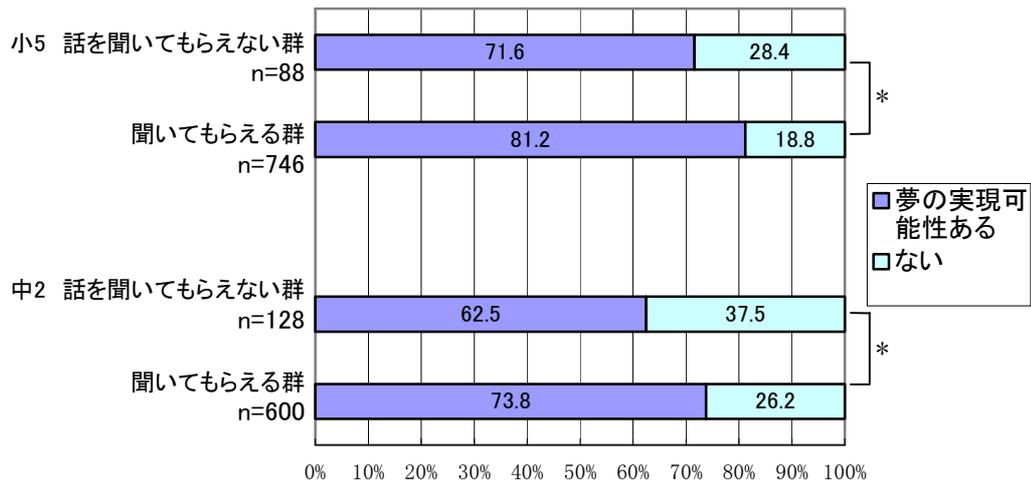


図 7-1-6 「夢やいきがいの実現可能性」と「話を聞いてもらえるか」の関連



## (2) つきたい職業

「将来つきたい職業があるかどうか」は、図 7-2-1 のとおりである。小5全体で76%、中2全体で65%が、「ある」と回答している。「夢やいきがいがあるかどうか」に比べると、より具体的なイメージを尋ねていることもあり、つきたい職業の方が「ある」が少なくなっている。男女別では、小5、中2とも、男子より女子の方が「ある」の比率が高くなっている。

つきたい職業が「ある」と回答した人には、それが実現する可能性がどのくらいあると思うかを、6段階で答えてもらった(図 7-2-2)。「とてもある」と「わりとある」を合わせると、小5全体では35%、中2全体では22%と少なくなっている。男女別では、「夢やいきがいの実現可能性」と同様に、中2では差がないが、小5では「少しある」まで含めると、女子の方に実現可能性が「ある」と思う子どもの割合が多かった。

「父母に話を聞いてもらえるかどうか」と、「つきたい職業の実現可能性」との関連をみてみると、小5では、「話を聞いてもらえる群」より「話を聞いてもらえない群」の方に、就業が実現する可能性が「ない」(ぜんぜんない、ほとんどない、あまりない)の比率が高くなっている(図 7-2-3)。小5では、父母に話を聞いてもらえることと、「つきたい職業の実現可能性」とは関連している。

図 7-2-1 つきたい職業の有無

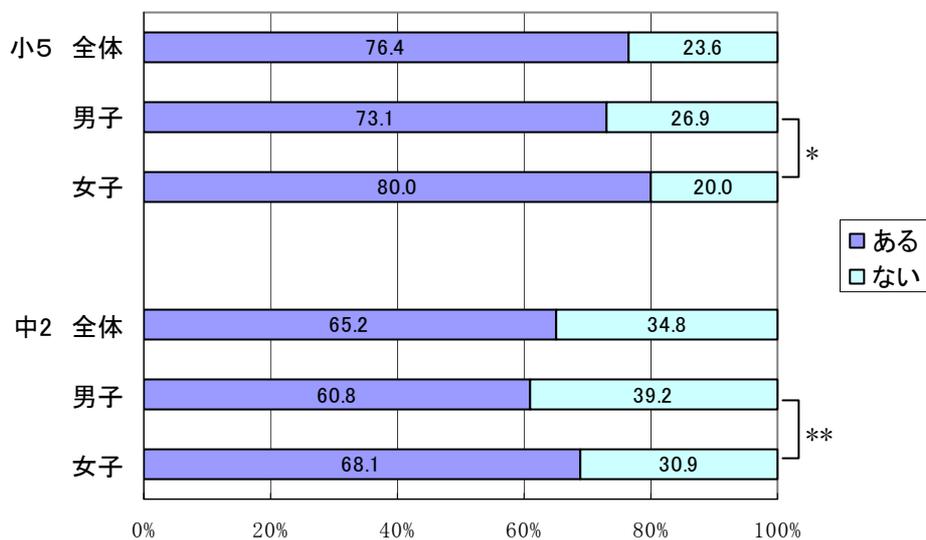


図 7-2-2 つきたい職業の実現可能性

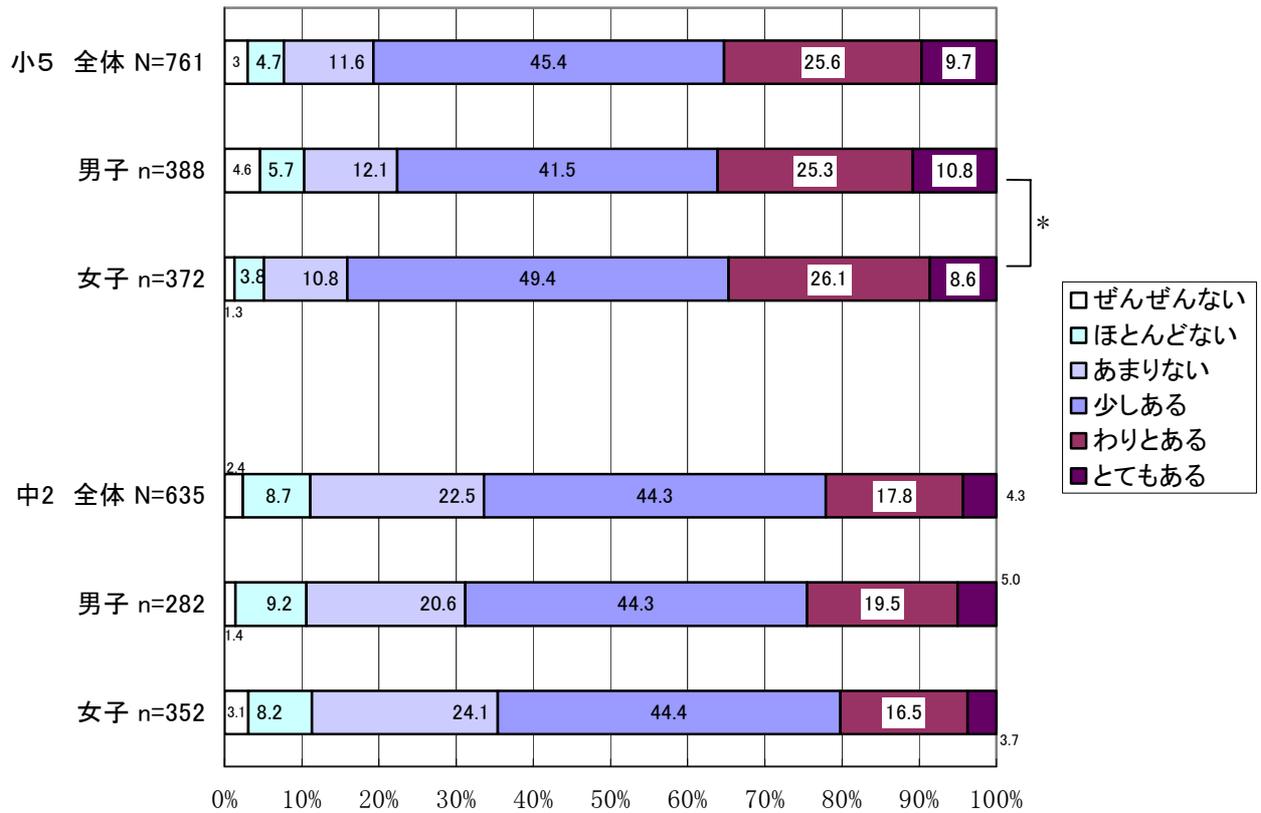
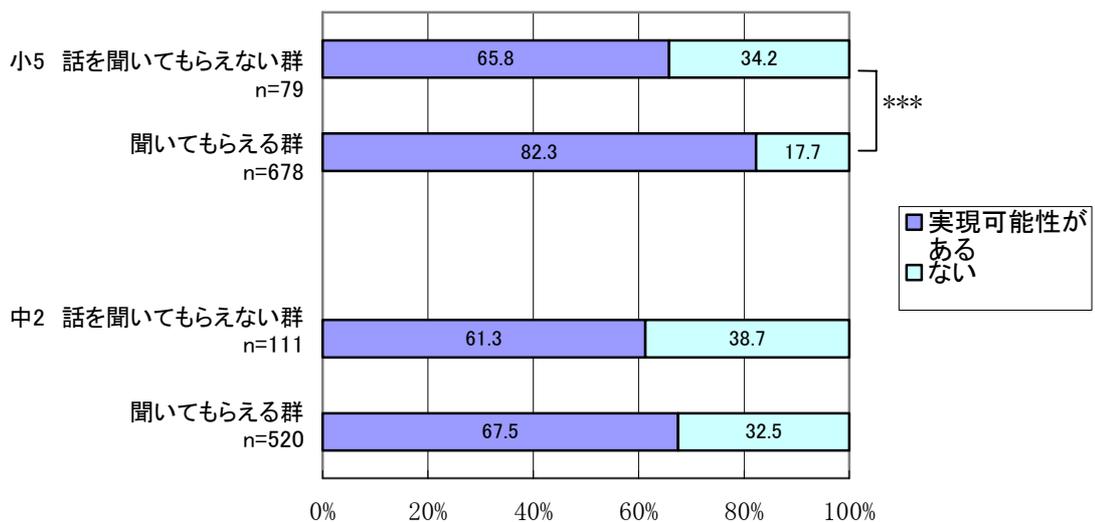


図 7-2-3 「つきたい職業の実現可能性」と「話を聞いてもらえるか」の関連



### (3) 将来の明るさ

全員に「あなたの将来は明るいと思いますか」に6段階で答えてもらった(図7-3-1)。「とても思う」と「わりと思う」を合わせると、小5全体で57%、中2全体で39%あった。男女別では、小5で、男子より女子の方が「明るいと思う」(とても思う、わりと思う、少し思う)子どもの割合が高かった。夢やいきがいの実現可能性や、つきたい職業の実現可能性に比べると、明るいと思っている子どもが多いが、中学生に否定的回答が多いのは、同様の傾向である。

「父母に話を聞いてもらえるかどうか」と、「将来の明るさ」の関連をみてみると、小5、中2ともに「話を聞いてもらえる群」より「話を聞いてもらえない群」の方に、「明るいと思わない」(ぜんぜん思わない、ほとんど思わない、あまり思わない)の比率が高くなっている(図7-3-2)。

また、「家族で付き合いのある近所の人がいるかどうか」と、「将来が明るいか」の関連をみてみると、小5、中2ともに「家族で付き合いのある人がいない」子どもは「いる」子どもより、「明るいと思わない」(ぜんぜん思わない、ほとんど思わない、あまり思わない)の比率が高くなっている(図7-3-3)。

父母に話を聞いてもらえることや、家族で付き合いのある人が近所にいることは、自分の将来が明るいと思うことと関連している。

図7-3-1 将来の明るさ

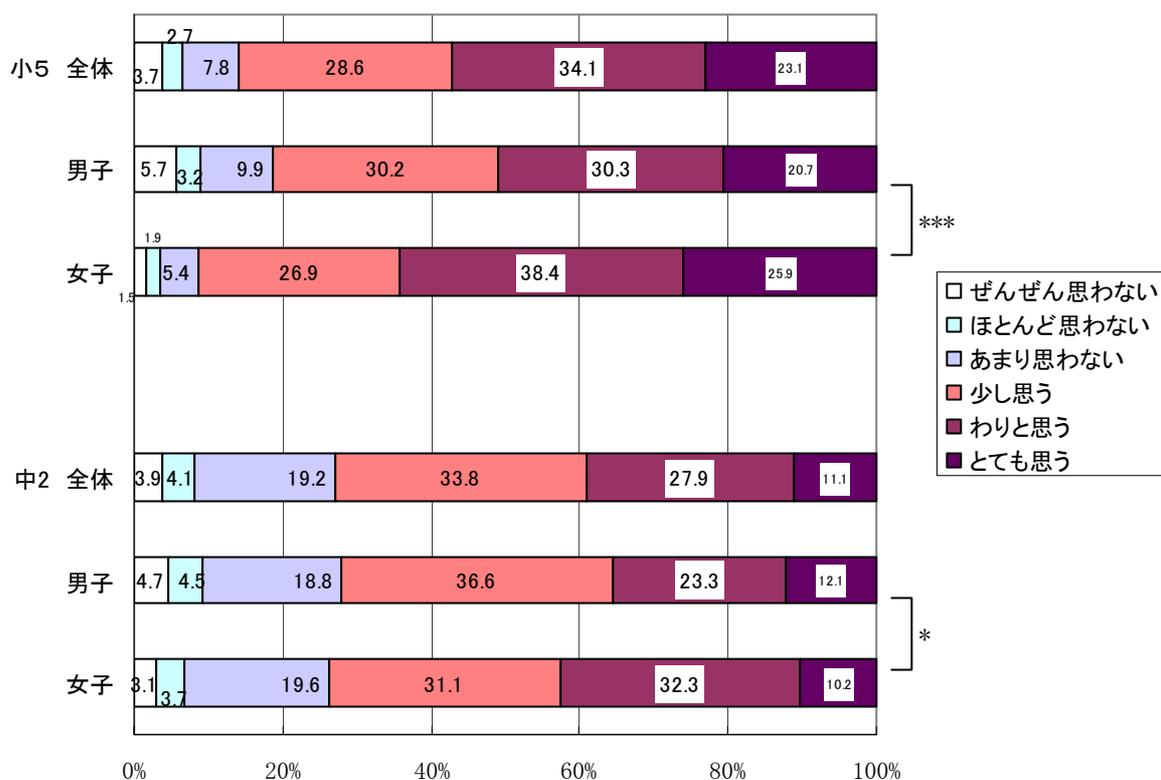


図 7-3-2 「将来の明るさ」と「話を聞いてもらえるか」の関連

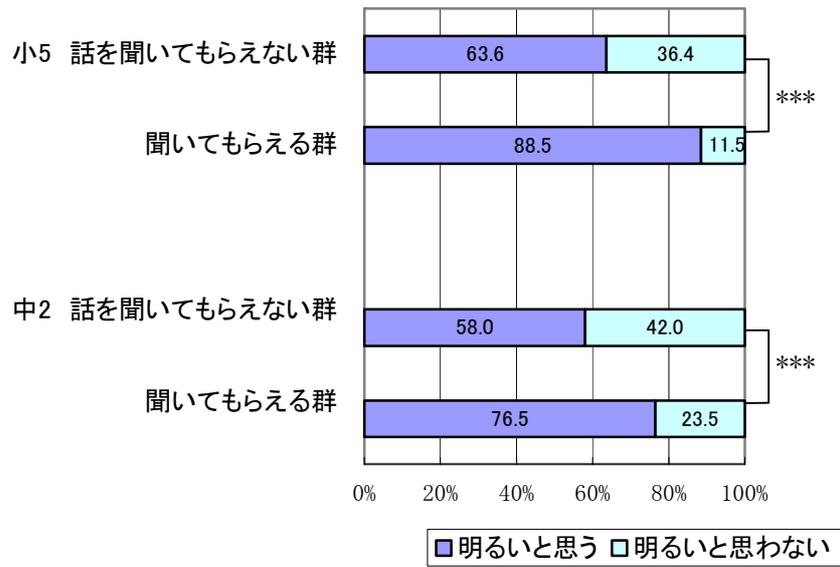


図 7-3-3 「将来の明るさ」と「家族で付き合いのある近所の人」の有無の関連

